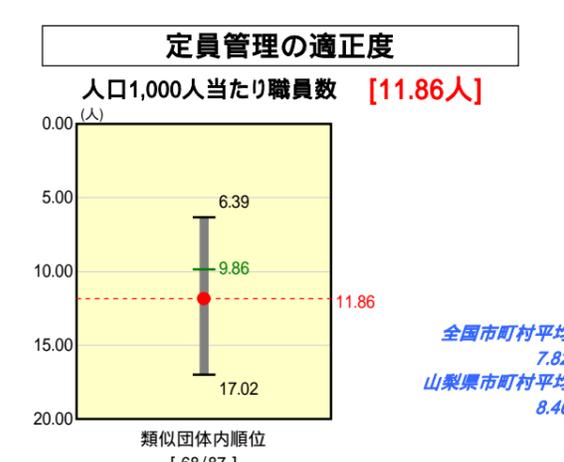
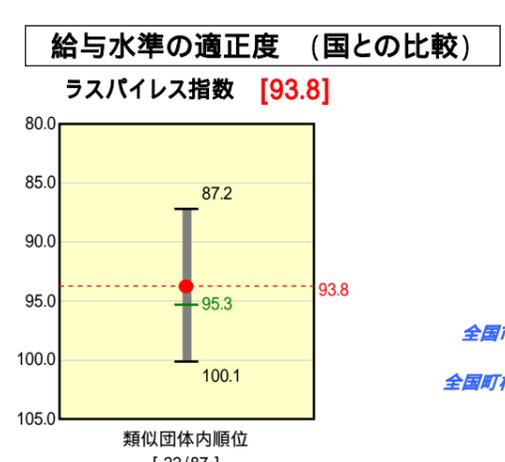
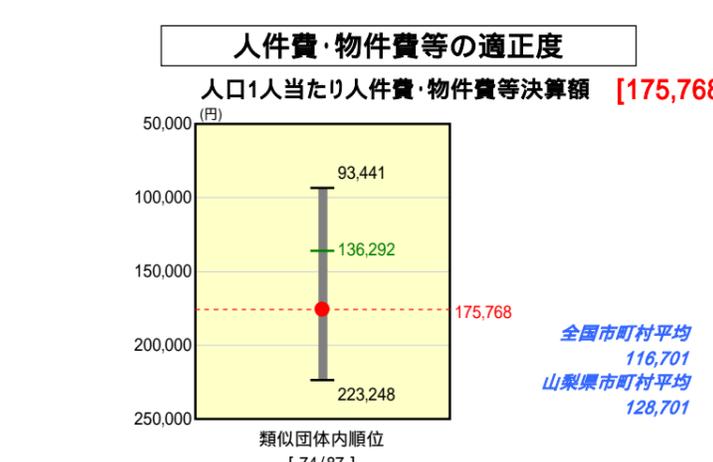
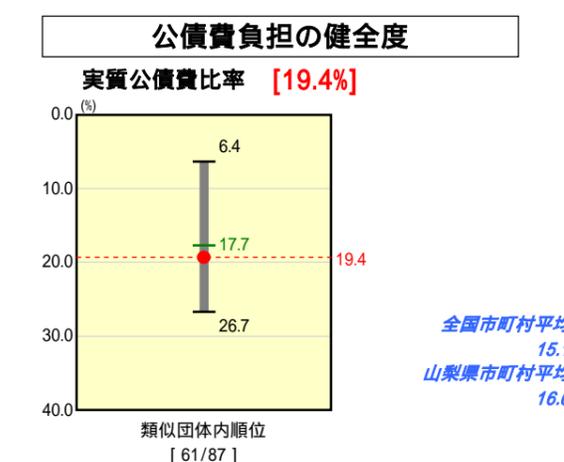
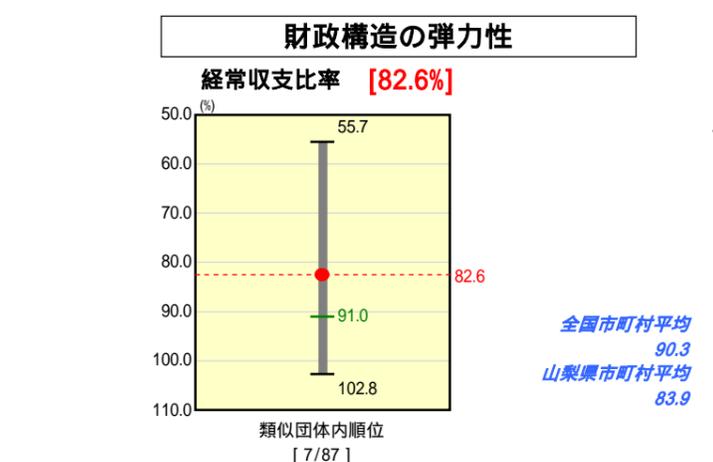
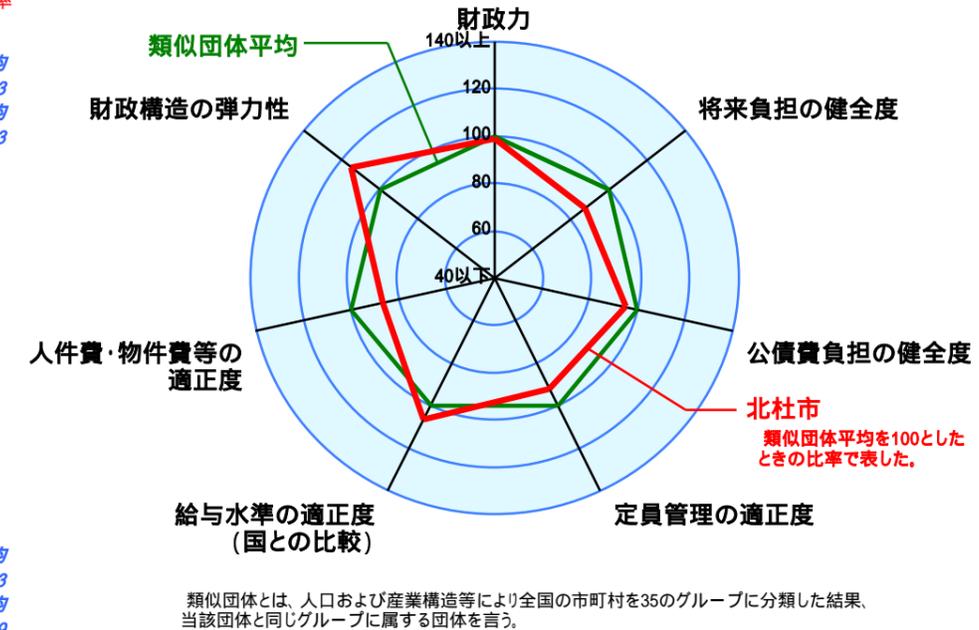
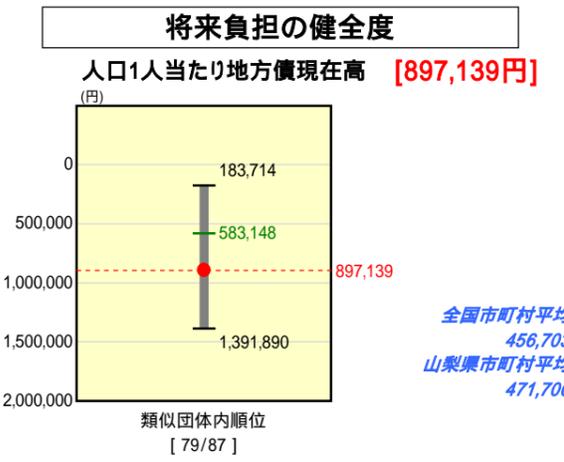
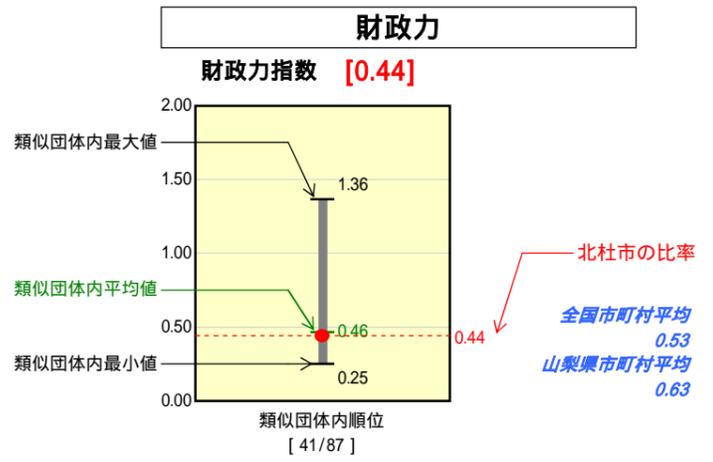


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 山梨県 北杜市

人口	49,834人	(H19.3.31現在)
面積	602.89	km <sup>2</sup>
歳入総額	30,789,487	千円
歳出総額	29,536,614	千円
実質収支	1,135,852	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力指数】**：基幹産業が少なく財政基盤が弱いため、類似団体の平均を若干下回っているが、上昇傾向にある。今後とも企業誘致を進め、税の徴収率を上げるなど歳入の確保に努める。

**【経常収支比率】**：扶助費や繰出金の伸びにより、前年度と比べて 0.7% 上昇しているが、類似団体の中では上位に位置している。

**【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】**：8町村での合併により、職員数が多く、類似する公共施設が多いことから平均値を上回っている。人件費については、集中改革プランに基づき平成22年度までに2.1人(2.5%)削減することとしている。また物件費については、指定管理者制度の導入による削減等により、前年度に対して12.3%削減しており、今後も一層のコストの低減を図っていく。

**【ラスパイレス指数】**：職員構成の変動により、前年からわずかに上昇したが、いまだ全国平均を下回っている。引き続き給与関係経費の縮減に努めていく。

**【人口1人当たり地方債現在高】**：類似団体平均を大幅に上回っている。このため、行財政改革を進め財政の健全化に努めている。その結果、平成18年度末の市債残高は4.2%減少している。平成19年度以降についても、新規発行市債の抑制や繰上償還、借換え等を行い、一層の健全化に努める。

**【実質公債費比率】**：近年、生活環境の整備として下水道事業や簡易水道事業に重点的に取り組んできたことや、過疎債や一般単独事業債等の多額の地方債の発行を行って地域の課題に対応してきたことから、類似団体平均を上回っている。今後も元利償還金は増加し、実質公債比率が上昇することから、公債費適正化計画に基づいて、公共事業の見直しを行い、市債発行の抑制、繰上償還、借換え等を実施している。

**【人口1,000人当たり職員数】**：合併時から退職者の補充減等により削減を行っているため、職員数は前年から減少しているものの、全国平均を上回っている。平成17年4月から5年間で6.8%の職員削減を行うこととしている。